



本木勝利議員

第5期介護保険計画にベッド増床を

副町長 適切な介護が受けられるように

増床を視野に入れ検討する

■利用者負担は

本木 特別養護老人ホーム入所待機者の実態と他の施設を利用した場合の利用者負担はどうなっているか伺います。

副町長 「白光園」の待機者は6月現在102名で、在宅での介護が大変といわれている要介護3以上の待機者は51名です。要介護3の方の1ヶ月の負担は「白光園」で7万6590円で、町民税非課税で年収80万円以下の方は4万6890円となります。老人保健施設「あゆみの園」は全室個室で月額11万7480円となっています。

■ベッド数は

整備されているか

本木 長期入所者の介護ベッドの数は国の参酌標準によって押さえられてるが町内のベッド数はどうか伺います。

副町長 国の参酌標準は37%です。ベッド数は6月末現在で要介護2から5の認定者数が482名で国の37%に置きかえると178名が対象ベッド数となります。6月末現在の特養、老健など3施設とグループホームの利用者数は190名で、参酌標準に換算すると39・4%となります。

■介護を支える世代の減少

本木 今後一層高齢化が進むが、介護を支える世代、家族の状況は、どうなっていくのか伺います。



特養施設 白光園

ます。今後、居宅介護サービスを充実していくか、施設整備をどうするかをふくめ、町としてどのような方針で対応していくか検討していきます。

■介護ベッド増床を

本木 今後町は介護用ベッドを増やしていく考えがあるのかどうか伺います。

健康福祉課長 入所施設の定員は白光園が110床、あゆみの園が80床合計190床です。入所待機者が100人を超えている現状を踏まえて、特別養護老人ホームの増床を考えています。参酌標準は撤廃になる見込みですが増床する場合は、町の介護保険事業計画に載せる必要があり、ニーズの一番高い特養ホームの増床か、小規模特養施設も含めて、町民の意見も聞きながら検討していきます。

健康福祉課長 10年後、20年後の人口推計によると、高齢者数は大きな変動はないと見えますが、介護を支える若年世代が大きく減ってくるのが懸念されます。